

記事タイトル： 2024年1月12日 1年2組 清水 粹也

午前中は授業だったが、午後から学校を出て、日本人メンバーで Ducketts Grove という城に行った。草原が広がるところにポツンとお城だけがあり、廃墟という感じだった。どこか静かで寂しい雰囲気があるが、かえって迫力があり、映画の中のような独特な世界であった。少し怖かったが個人的にはアイルランドの中で一番好きだった。また、城内を回ったが、数百年も前の人たちと同じ景色を見ているということに、何か不思議な気持ちを感じさせられた。

その後、家に帰り、夕食を食べ終わった頃に、隣に、住むホストマザーのシスターが息子(15歳)と一緒に今日も来た(ほぼ毎日来てくれる)。その二人と僕ら家族でソファに座り、紅茶と一緒にビスケットなどのお菓子を食べながら談笑した。いつも日本のことや自分のちょっとした英語の誤解などで盛り上がっていて、今日も楽しかった。余談だが、ホストマザーのシスターが来た時に、ものすごく仲が良くて、英語には日本語のように敬語がないため、変な距離感が出来にくく、歳が離れていてもすぐに仲良くなれるのだなと思った。

